

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2018年度（財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会注意事項により行う。

## 2. 練習について

- (1) 練習は第二陸上競技場において競技役員の指定する場所と時間帯で行う。
- (2) 投てきおよび跳躍種目は、競技役員の指示により主競技場で練習を行う。

## 3. 招集について

- (1) 招集所は第二競技場用器具倉庫内に設ける。  
必ずコールを受けてから出場すること。
- (2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準に、次の通りとする。

	召集開始時刻	召集完了時刻
トラック種目	30分前	20分前
フィールド種目	40分前	30分前

### (3) 招集の手順

- ①代理人による最終点呼は認めない。ただし、出場競技者が他の競技に出場中で招集出来ない場合は、代理人がその旨を競技者係に説明し、指示に従う。
- ②リレー種目においては、召集完了時刻の1時間前までにリレーオーダー用紙に記入し、召集所の競技者係に提出する。(1チームにつき2部提出)
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理をする。
- (5) 競技場所へは係員の誘導、指示により入場する。

## 4. 競技について

- (1) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (2) トラック競技でレーンを使用する場合、欠場者のレーンはそのままあけておく。  
出場者が8名までの時は1レーンをあける。
- (3) 男女トラック種目の予選はすべてタイムレースとし、上位8名が決勝に進出する。  
(8位が同タイムで2名いる場合は9名が決勝に進出し、3名以上いる場合は抽選で2名を決め9名が決勝に進出する。)
- (4) レーンで行うリレーの競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンに粘着テープによって1カ所印をつけてよい。各自チームの競技者が必ず取り除くこと。
- (5) リレー競争におけるテイクオーバーゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイクオーバーゾーン外から走り出してもならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- (6) 走幅跳では、主催者が提供したマーカーを助走路外におくことができる。  
審判長の判断によりパスラインを設けることがある。
- (7) フィールド競技において2ピット（2つの競技場所）が必要と判断した場合は2つの競技場所で行う場合がある。
- (8) 走高跳（はさみ跳び）は、マットへの着地は足裏からとし、背、腰からの着地は無効試技とする。助走や跳躍の際、主催者が承認したものをおくことができる。
- (9) ジャベリックボール投はやり投げピットで行う。  
予選3投、決勝3投を行い、男女の代表を決定する。助走距離は15m以内とする。
- (10) スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタートティングスタートも認める。  
スタートは、同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
- (11) ナンバーは各チーム、大会本部から用意されたものに県登録ナンバーを記入したものを使用すること。

## 5. 助力について

競技中、競技者は助力を受けてはならない。

助力を受けている競技者は審判長によって注意され、繰り返し行われている場合には、その種目から除外される。

(1) 競技者が携帯電話などの通信機器を競技場内に持ち込むこと。

(2) 競技者以外の者が、競技場内に入り、助言・援助すること。

## 6. 競技用具について

競技用具は、主催者が準備したものを使用すること。

## 7. 走高跳のバーの上げ方について

種目	練習	1	2	3	
走高跳 (男子)	1. 10	1. 15	1. 20	1. 25	1m35までは、5cmごと それ以後は3cmごと
走高跳 (女子)	1. 05	1. 10	1. 15	1. 20	1m25までは、5cmごと それ以後は3cmごと

※天候などの条件により審判長の判断により変更する場合がある。

## 8. 表彰について

優勝者にはメダルを授与し、1位～3位までは表彰を行う。

## 9. 全国大会について

(1) 各種目1位の選手は全国大会の出場権を得る。ただし、リレーと個人種目の両方で出場を得た場合は、リレーが優先するので、個人種目は次点の選手が出場権を得ることになる。

この場合のリレー選手とは、プログラム記載の該当リレーチームの選手すべての選手を指し、決勝に出場した4名のみを指すものではない。

※リレーの予選・決勝に出場しなくとも、リレーチームに記載されている選手は、個人で優勝した場合、リレー優先となる。

※リレー申し込み選手を本大会プログラムに記載された選手と入れ替えることができるよう規則が改定されたが、入れ替えられた選手が単独種目で全国出場権利を獲得しても、リレーチームに記載されている以上、リレーが優先となる

(2) 全国大会当日に行われる行事日程に参加出来ない選手は、全国大会出場権を認めない。  
(日本陸上競技連盟通達)

(3) 全競技終了後、本部にて全国大会当日までの打ち合わせ会を行います。監督及び選手、保護者はかならず集合すること。当日のうちに申し込み書類等の記入を行うので、厳守すること。

## 10. 一般注意事項

(1) 記録は正面玄関2Fの記録掲示場所に掲示する。

(2) 競技会期間中、競技場で発生した傷害や疾病は応急措置を行うが、その後の責任は負わない。

(3) 記録証を希望する競技者は、記録証係に記録証交付願および交付料(500円)を添えて申し込む。(記録証交付願は受付に用意する)

(4) プログラムは受付にて、一部につき500円で販売する。

(5) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。競技規則第146条に従って、競技者自身またはチームを公式に代表する者が審判長(本部席の担当総務員に申し出る)に対して口頭で行い指定された控え室で待機する。